

FAIRPLAY NEWS



感謝とお願いの気持ちを込めて

ロシアの体操選手 アレクセイ・ネモフ

2004年 アテネオリンピック 体操の種目別鉄棒

2000年の シドニーオリンピックで、個人総合と鉄棒で金メダルを獲得したトップ選手

さあネモフ 2連覇なるか!?

次々と大技を繰り出します

さすがですね

豪快な演技に会場は大興奮です

9.725

しかし、採点は伸びません

まだ、収まりません

すると採点を不満とする会場から大ブーイングが起きた

これでは次の選手が競技できません

するとネモフ選手は、会場に感謝の気持ちを示し

悔しい気持ちを抑えて、次の選手のことを思うネモフ選手の姿に、会場は落ち着きを取り戻した

静まるようにアピールした



オリンピックへの道 トランポリン

楳野とも ぎんが せんしゅ 棟朝 銀河 選手

楽しさを力に変えて、リオで高く美しいジャンプを。

ビルの3階くらいの高さまでジャンプし、美しい演技を次々と繰り出すトランポリン。棟朝選手が始めたのは、小学2年生に体験したトランポリン教室がきっかけでした。楽しいから高く跳ぶ、楽しいから新しい技にチャレンジする。その積み重ねで、ついにリオオリンピックの代表に選ばれたのです。すると、自分のためだけではなく代表としていいジャンプをしなければという、これまでに感じたことなかったプレッシャーや責任を感じるようになりました。でも、それを感じながら跳ぶことに価値があると考え、準備を進めています。みんなの期待や夢を背負いながら、リオで高く美しいジャンプを!



わたしのフェアプレイ 高木美帆(スピードスケート) 挑戦する気持ちを忘れない。



私は中学3年生の時にバンクーバーオリンピックに出場しましたが、4年後のソチオリンピックの出場は逃してしまいました。「このままではダメだ」との思いから、スケートシューズを新しく作り変えました。新しい取り組みへの第一歩だったのです。そして、滑り方に対しても、こうしてみよう、ここを変えてみようアレコレ挑戦するようにしました。もちろん、すべてがうまくいくとは限りません。逆に成績が下がってしまい、落ち込みそうになることもあります。でも、そんな時でもふだんと同じように接してくれる仲間がいて、私を前向きにさせてくれるんです。仲間存在は、大きいですね。

2009年バンクーバーオリンピックに日本スピードスケート史上最年少出場。2015年世界距離別選手権の女子チームパシュート(団体追い抜き)で日本女子初の優勝を飾り、2016年も世界オールラウンド選手権の500mで優勝を果たしている。現在大学4年生。

※日本体育協会の広報誌「スポーツジャパン5・6月号」に詳しい記事を掲載しています。

